

団体名	公益財団法人 茨城県国際交流協会						
事業名	茨城県留学生親善大使の活躍による国際交流等の推進、留学生の災害時理解に係る支援						
実施期間	令和2年5月1日～令和3年1月31日						
場 所	茨城県内小中高等学校、特別支援学校、および生涯学習関連施設等						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	56	46	6	2,850	3		2,961名

<実施内容>

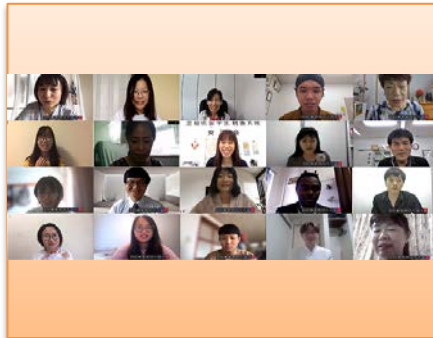
【国際理解教育講師等派遣事業(ワールドキャラバン)】

県内の留学生を「茨城県留学生親善大使」として任命し、県内の小中高等学校、特別支援学校及び生涯学習関連団体の実施する授業や国際理解講座の講師として派遣しました。申請団体の希望によってはオンラインでの遠隔授業も実施しました。母国紹介講義、交流活動等を通じて、留学生が児童・生徒、地域住民らとふれあい、日本と母国それぞれの文化の理解を深めることができました。

【留学生のための災害理解講座】

県内の留学生を対象に、日本で起きる自然災害について理解を深め、日ごろの備えを心がけてもらうために実施しました。防災科学技術研究所から講師を迎え、模型等を使った実験を通して、災害のメカニズムについて楽しくわかりやすく学ぶことができました。

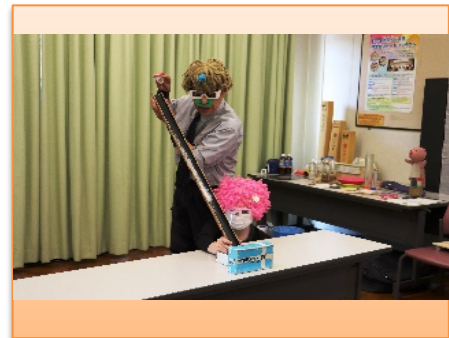
<記録写真>



茨城県留学生親善大使
オンラインで交流会を開催



オンラインで生徒に日本語で母国
の説明をするウクライナの留学生



Dr.ナダレンジャーによる災害発生
メカニズムの実演と解説

<参加者からのコメント>

武俐さん(中国)/Wu Li

ワールドキャラバンに参加して、自分もさまざまな日本と中国の生活上、文化上などの違うところを学びました。グローバル化の時代背景で、私たちは自分の国の文化を知ると同時に、他の国の文化、言語、行動の違いなども知るべきです。このようにしてこそ、他の国の人ともっと深い交流ができると同時に、国際交流の誤解を避けることもできるとおもっています。今回、ワールドキャラバンを連絡してくれて、本当に感謝しております。もし機会があれば、いろいろなワールドキャラバンの活動に参加したいとおもっています。ありがとうございました！

グエン ハン ユンさん(ベトナム)/Nguyen Hanh Dung

ワールドキャラバンに参加して、自分の国のことを紹介しながら、日本人の学生たちと交流ができて、とても楽しかったです。学生さんたちはちゃんと話を聞いて、反応してくれて感動しました。やはり異文化は知れば知るほど面白いことがたくさんあります。このような活動に参加すると、留学生の私たちにとって貴重な挑戦機会だと思い、多くの前の人で話す力を身につけることができ、何よりもよかったです。できるだけまた参加したいなと思います。